



一橋大学空手道場

「再進化する建築」
一橋大学にある空手道場。敷地はキャンパス内で大きな緑が覆われており、本計画で求められたことは、周囲の豊かな緑を眺めながら、自然にふさわしい建物をつくること。周囲の豊かな緑を眺めながら、自然にふさわしい建物をつくること。周囲の豊かな緑を眺めながら、自然にふさわしい建物をつくること。

大きな庇の効果を最大化する。庇は、雨や直射日光を遮り、室内の温度を安定させる。庇は、雨や直射日光を遮り、室内の温度を安定させる。庇は、雨や直射日光を遮り、室内の温度を安定させる。

庇と換気、手置きする間接照明を最適化する。庇と換気、手置きする間接照明を最適化する。庇と換気、手置きする間接照明を最適化する。庇と換気、手置きする間接照明を最適化する。

環境に合わせた建築や、建築が置かれる環境という視点から、手置きする条件を定める。環境に合わせた建築や、建築が置かれる環境という視点から、手置きする条件を定める。環境に合わせた建築や、建築が置かれる環境という視点から、手置きする条件を定める。



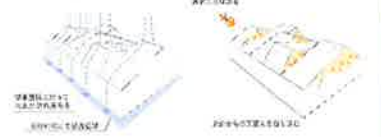
低電力な空調換気計画

涼風は、庇や開口部により取り込み、送風機で床下へ送り込む。涼風は、庇や開口部により取り込み、送風機で床下へ送り込む。涼風は、庇や開口部により取り込み、送風機で床下へ送り込む。

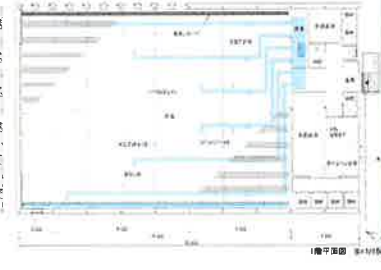
鉄骨フレームと小屋組による換気可能な構造計画



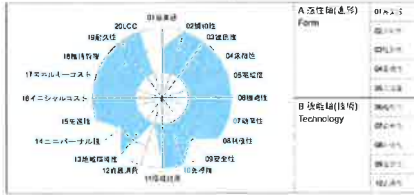
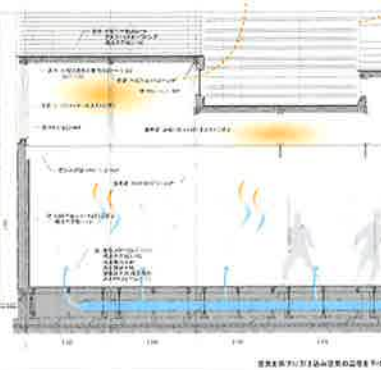
切妻分節屋根



通気性を高めるための、構造設計による必要最小限の換気システムを構築すること。



低電力な空調換気計画



項目	評価	説明	項目	評価	説明
A 気候(Weather) Form	◎	気候に合わせた建築や、建築が置かれる環境という視点から、手置きする条件を定める。	1 社会環境(Environment)	◎	11 環境負荷
B 技術(Technology)	◎	低電力な空調換気計画、鉄骨フレームと小屋組による換気可能な構造計画。	◎	◎	12 経済性
	◎		◎	◎	13 健康性
	◎		◎	◎	14 コミュニティ性
	◎		◎	◎	15 持続性
	◎		◎	◎	16 シンボル性
	◎		◎	◎	17 ランニングコスト
	◎		◎	◎	18 環境負荷
	◎		◎	◎	19 ランニングコスト
	◎		◎	◎	20 LCC